

海の森も大切、
陸の森も大切、



さまざまな生命を育む森。新日鉄は、2つの森づくりに取り組んでいます。日本の産業界に先駆けて1971年にスタートした「郷土の森づくり」。全国各地の製鉄所で、その土地の植生を調べて樹木を選定し、地域の環境に溶けこむ本物の森づくりを進めました。小さな苗は、いまでは見上げるほど大きくなり、キタキツネ、ノスリ、ホタルなど多くの野生動物の姿が見られます。そして、海藻類が減って海が砂漠化する“磯焼け”を改善する「海の森づくり」。製鉄プロセスの副産物である鉄鋼スラグを活かして磯焼けの一因となる鉄分不足を補い、藻場の再生を通じて豊かな生態系の回復に貢献しています。多様な生き物が健やかに育つ環境を、未来へ。

新日鉄の活動は、これからも続きます。



先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp